

目指す」とのこと。最近の報道では、チリ・ペルーにおいても批准の準備が整ったようです。一方で、核保有国や日本などの「核の傘」に依存する国々は署名・批准していません。とくに、唯一の戦争被爆国の政府が条約に背を向け続けていることについては、国内外から大きな失望が表明されています。それと共に、もしも日本政府の姿勢が変化するならば条約の実効性を飛躍的に高めることが期待されています。

日本でも、「核兵器禁止条約への調印(署名)・批准・参加を日本政府に求める」趣旨での意見書決議が528自治体(全自治体の30%)で採択されています(1月22日現在)。芦屋市議会は、昨年9月、「芦屋市原爆被害者の会」から出されていた「国に『核兵器禁止条約』への署名・批准を求める意見書採択についての請願書」を賛成多数で採択し、議員提出議案の「意見書」を可決しました(賛成12人、反対8人)。



しかし、「核保有国と非保有国の橋渡し役」と言いながら、菅政権は条約に否定的姿勢のまま。「日本には、唯一の戦争被爆国として、核兵器の使用によりもたらされる惨禍は決して繰り返されるべきではないこと、核兵器を廃絶していくべきことを、世界の人々に強く訴えていく使命がある」(『日本の軍縮・不拡散外交』外務省、2016年)とまで明記しているのですから、少なくともオブザーバーとして締約国会議(来年1月までに開催予定)に参加し、核兵器の廃絶に向けての国際的な取り組みと努力を共有すべきです。しかし、菅首相は、「オブザーバー参加」にさえきわめて後ろ向きです。これでは、前述の「橋渡し役」もまったく口先だけのものと言わねばなりません。

政府の姿勢の転換を強く求めます。

## 目に見えないものに 価値が移ってゆくよ

NHKラジオ年末特番に、占い師ぷりあでいす玲奈さんがゲスト出演されていた。2020年という年をどうとらえて次に進めばいいでしょうか?という問い「占いの的には、先日の冬至あたりを境にした時代の変わり目。“目に見えないものに価値が移る”という流れが2020年から始まっています。200年に一度の転換で、今入れ替わりの真っ只中。」とのお答え。

目に見えない新型ウイルスによる社会変動も然りだが、通信技術や人工知能の急速な発展は、人とのふれあい方を変えそうだし、昨日まで当たり前だった日常がある日突然ひっくり返るかもしれん。

師の話では、転換の真っ最中とあった。場面転換で思い浮かぶのは、昭和の子供の人気番組「8時だヨ!全員集合」の中盤、コントが終わると舞台装置が床ごとぐるぐる廻る。祭り囃子が鳴り響く中、大慌ての片付け光景。占いによれば、この喧騒がしばらく続くってこと



か、、、 (東灘区 山田 章)

### カンパのご協力有難うございました

年末にお願いいたしましたカンパにご協力をいただき本当に有難うございました。引き続きお受けしておりますので、よろしくお願いたします。

芦屋「九条の会」代表 久保富三夫

### 「16周年記念のつとめ」のお知らせ

日時：3月20日(土) 14:00～ 場所：市民センター401

講師：池内 了さん(名古屋大学名誉教授、宇宙物理学者)

\*新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止・延期する場合があります。

問合せは芦屋「九条の会」HP <http://ashiya9.web.fc2.com/> をご覧下さい。